

平成 28 年度 神奈川県立大楠高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証

神奈川県立大楠高等学校は、事故・不祥事の未然防止を目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定め、それについて検証を行った。

I 平成 28 年度の不祥事ゼロプログラムの目標の設定及び行動計画

(1) 法令遵守意識の向上

- ア 目 標 公務員・社会人としての自覚について、基本に立ち返った行動の徹底を図る。勤務時間外の行動においても公務員の自覚を常に持ち、信用失墜行為を未然に防止する。
- イ 行動計画 啓発資料等を活用して、職員会議で事故防止の意識啓発を行う。また、教育公務員の不祥事に関する新聞記事等を取り上げ、朝の打ち合わせや職員会議にて公務外非行防止の意識啓発を行う。
- ・「職員行動指針」の徹底を図る。
 - ・「一人ひとりが県の顔～より良い県民対応のために～」の再認識を図る。
 - ・あいさつ運動の再認識を図る。

【検証】

「不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用しながら、資料機会あるごとに交通事故、交通違反の防止、交通ルールの遵守、公務員としての規範意識の向上を図った。交通事故等の課題はなかった。

(2) わいせつ、セクハラ行為の防止

- ア 目 標 人権感覚を磨き、セクシュアルハラスメント等を未然に防止する。
- イ 行動計画
- ・携帯電話、電子メール、SNS等コミュニケーション手段のルールに基づく適正な利用を徹底する。
 - ・教科準備室等の適切な利用を徹底する。
 - ・児童・生徒のセクハラに対する意識の啓発、相談体制を周知する。

【検証】

「不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用しながら、人権感覚の醸成を図る職場研修を実施するなど職員の感覚を磨いた。SNS等コミュニケーション手段のルールについては、「生徒の連絡先に関する取扱いに係るガイドライン」を平成 28 年 7 月 4 日に改訂し、職員会議で周知した。

(3) 体罰、不適切な指導の防止

- ア 目 標 「体罰防止ガイドライン」に基づき、生徒指導における体罰、不適切指導を未然に防止する。
- イ 行動計画
- ・外部講師による所属職員全員を対象とした職場研修を実施する。
 - ・会議にて不適切指導防止の意識啓発を行い、体罰によらない指導の徹底を図る。
 - ・部活動においては顧問等による相互チェックの体制を整備する。

【検証】

「不祥事防止職員啓発・点検資料」を活用しながら、さまざまな機会をとらえ職員の意識啓発を図った。アンケート等の調査では、体罰、不適切指導との指摘はなかった。体罰や不適切指導がないよう、今後も引き続き組織的な取組を進める。

(4) 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止

- ア 目 標 定期テスト、成績処理に関する事故防止及び生徒指導要録作成、調査書発行に関する事故を防止する。
- イ 行動計画
 - ・マニュアルや点検体制が、適切に機能するよう確認する。
 - ・学事開発グループによる所属職員全員対象の研修会を実施するとともに、7月、12月及び3月に、成績処理一斉点検を実施する。

【検証】

昨年度の検証を踏まえ、観点別評価の観点ごとの評価の割合を統一するといった改善を図った。成績処理マニュアルに従って、評価を行うとともに、点検、通知票の発行を行った。引き続きミスゼロを目指し取り組んでいく。

(5) 会計事務等の適正執行

- ア 目 標 会計業務の不適切な処理を未然に防止する。
- イ 行動計画
 - ・県費、私費会計基準を遵守した私費会計事務処理の徹底を図る。
 - ・定期的に県費、私費会計の執行状況を確認する。
 - ・本年度内に1度、備品の現物照合を行う。

【検証】

4月当初に会計基準について研修を行い、職員の理解を深め会計業務を適正に実施した。また、監査時に指摘された項目を中心に会計基準を確認し、改善すべきことについてはすぐに対応した。備品については、台帳と現物照合を確実にするなど、適正な管理を行った。

(6) 業務執行体制（情報の共有、相互チェック体制、業務協力体制） （生徒支援G）

- ア 目 標 教職員間のコミュニケーションを密にし、事故・不祥事につながる可能性のある事象について、お互いに問題点を指摘し合える職場環境づくりを目指す。
- イ 行動計画 書類作成等では点検マニュアルにより複数で確認する。事故・不祥事が発生した場合には、すみやかに管理職に報告し、適正な対応をはかる。

【検証】

統一した成績処理シートを導入するなど、成績処理の相互チェック体制が有効に機能するよう工夫を行った。

II 総括

事故・不祥事ゼロを目指して職員への注意喚起を中心に取り組んだ。成績処理に関しては、ミスゼロを目指し改善を図った。引き続き、日常的に職員の意識を高めるための取組を通して、事故・不祥事を根絶するような体制を構築していく。